

## 令和3年度第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和3年11月20日(土) 午前10時～12時15分

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

### 3 出席者

(委員) 押樋委員長 西村副委員長 遠藤委員 沼委員 梨本委員 高橋委員  
松本委員 館委員 澁谷委員 堀内委員

(事務局) 中央図書館

中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 図書資料係長 総務係主任司書  
生涯学習課

生涯学習課長 こども図書館準備室長

4 傍聴人 1人

### 5 議題

報告事項

- (1) 令和3年度上半期利用統計及び事業報告について
- (2) 蔵書点検の結果について
- (3) 決算委員会について
- (4) 令和3年度自己点検評価について

協議事項

- (1) 図書館協議会委員の提言について

### 6 議事の概要

報告事項

- (1) 令和3年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- (2) 蔵書点検の結果について、事務局より報告を行った。
- (3) 決算委員会について、事務局より報告を行った。
- (4) 令和3年度自己点検評価について、事務局より報告を行った。

協議事項

- (1) 図書館協議会委員の提言について、協議を行った。

### 7 会議経過

報告事項

- (1) 令和3年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。  
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) インターネットからリクエストした本について、以前より到着までに時間がかかるようになったように思う。何か理由があるのか。

(回答) リクエストの数が増えたことにより急激に遅くなったということはない。市内を回る搬送便の処理が追いついていないこともある。また搬送便が一週間に一度回らない日を設けたことによる影響が出ており、課題としてとらえている。

(回答) インターネットでの予約の場合、順次処理しているが、たまたま別の利用者が読んでいるなど、本来の場所になく場合もあり、必ずしも用意できるとは限らない。電話での申し込みであれば、現物を確認できるので確実に用意できる。また、インターネットからの予約で用意した本は一週間の取り置き期間が経過してキャンセルされることも多い。

(意見) キャンセルの件数は数字として出てきていない。キャンセルについて周知してほしい。

(意見) 本があるはずのところにないというのは図書館ならではの課題である。便利なバイク便とは違うということ、基本システムを理解してもらうため、予約のページに明示するとよいのではないか。

(2) 蔵書点検の結果について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 不明冊数について、冊数ではなく金額ベースで発表してはどうか。

(3) 決算委員会について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 職員研修費について決算額が減っているのが気になる。ぜひ対外的な活動は継続してほしい。

(回答) 研修に参加しなかったのではなく、オンラインで受講した研修は事業予算がかかっていない。新型コロナウイルスの影響で中止となった研修もあり、可能な範囲で参加した結果、決算額としては減額となっている。

(4) 令和3年度自己点検評価について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 評価項目について4項目としたのはなぜか。またこれらを選んだ理由は何か。

(回答) 以前の図書館協議会の中で、項目数が多すぎるとのご指摘もあり、重点課題として4項目に絞った。「障がい者サービス」については、法改正があり取り組むべき課題があること、またここ数年取り上げていなかったため。「子ども読書活動の推進」については、実施計画事業において読書通帳をあげていることや昨年度策定した第三次子ども読書推進計画の初年度でもあるため。「レファレンスサービス」については、図書館

の根幹的な事業であり、昨年度委員より指摘や要望が多かったため。「情報発信」については、新型コロナウイルス感染症対策のための休館や短時間での図書館利用に向けた資料情報の提供など、図書館からの情報発信の重要性が大きくなっているため。

(質問) 事業評価については外部に公表されるのか。

(回答) いただいた意見は取りまとめて、委員長と協議のうえ3月の会議で報告する。その結果を図書館ホームページで公開する予定。

(質問) ホームページビュー数は実際に閲覧した数とロボットによる機械的なアクセスをどのように整理するのか

(回答) 極端な数字の上昇がみられた際は調査する。現在はセキュリティ環境の向上で以前のような異常な数値はみられない。

(意見) ロボットによるアクセスは、他の自治体でも見られるようなので、定期的に確認が必要だと考える。

## 協議事項

(1) 図書館協議会委員の提言について、協議を行った。その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) 電子書籍について浦安に導入すべきかの是非を問うということか。なぜ今まで導入してこなかった電子書籍について入れるのか。

(回答) 図書館の電子化事業として、まず優先度の高い震災資料のアーカイブ化を行った。次に地域資料の電子化に取り組む予定である。その次の段階として電子書籍の導入に向けた検討のなかで委員のみなさんに意見を聞きたい。

(質問) 先行導入している流山市や船橋市での課題はあるか。

(回答) 具体的に聞いていないが、利用が伸び悩み中止した自治体もある。コストに対して利用は多くない印象である。

(質問) 図書館同士が課題を共有する全国的な意見交換の場はあるのか。

(回答) 権利関係団体、出版社や図書館などが意見交換する場はなく、それがデメリットの一つでもある。

(意見) 次回の協議にあたって、導入した図書館の実態、利用状況、サービスを中止した自治体の事情など、参考資料として出してもらえると検討しやすい。

(意見) ぜひ情報収集してほしい。電子書籍を導入したことで、従来の蔵書の利用が増加し、今まで来なかった利用者が来るようになったなど良い部分の情報も把握したい。

(意見) この価格帯はやはりおかしと思う。アメリカの図書館協会では図書館に不利な価格設定について出版社に働きかけをしている。浦安市でも図書館としてアプローチすることは難しいか。また、日本ではあまり例がないが、他自治体と共同で購入するなど、コンソーシアムとして共同で購入していくことで、タイトル数も増え、同時アクセス数も多く設定できる。そういった方法を検討してもよいのではないか。

(意見) 新型コロナウイルスの影響により計画を中止している子ども図書館について、どう  
いう見通しになっているか聞きたい。

(回答) 今のところ、見通しはたっていない。

(意見) 子ども図書館の延床面積は確定しているのか。子ども図書館には親子で行くことが  
多いと思う。親向けの蔵書も必要となるかと思う。子ども図書館と日の出分館の面積  
のバランスを考えたらよいと思った。外国の子ども図書館はメイカースペースに3D  
プリンターを設置したり、プログラミングなどを実施したりしている。新しくできる  
図書館は今後、そういったことのほかSTEAM教育、SDGsなど新しいことに取  
り組めるような場所があればよいと思う。

(意見) 幼児と小学生のサービスの実績はあるが、ヤングアダルトに対するサービスについ  
てもぜひ実践的に取り組んでほしい。中高生が図書館に来ず、3年間で1冊も読まな  
いのが実態である。高校などとも連携してほしい。

(質問) 読書は子どもの成長に必要なもので、ぜひ推進して行ってほしいが、子ども図書館  
の目的などを知らせてほしい。浦安市として期待することは何か。

(回答) 基本的なことについては、「(仮称)浦安市子ども図書館基本構想」にあるので、  
ご覧いただきたい。

中央図書館のリニューアルで、にぎわいのある場所として「のびのびひろば」を新  
設した。子どもが自由に本を読める場所だが、図書館は静かにするところという固定  
概念が崩れない。子ども図書館では子どもが声をあげてもよい場所にしたい。

近年、高校生や大学生の不読率が高いことが課題となっており、浦安でもヤングア  
ダルトサービスは以前からの課題の一つであるが、十分なサービスができていなかっ  
た。子ども図書館では、国の子ども読書推進計画も参考に、成長段階に応じた利用を  
促進し、最終的に分館の一般書の利用につなげたい考えである。また、基本構想策定  
時のアンケートでは、子どもが騒ぐと人からうるさいと思われるので、図書館に連れ  
て行けないというのがあった。各年代の子どもと子ども連れの利用者が気軽に読書  
を楽しんでもらう場としたい。

(意見) 子ども図書館というと乳幼児へのサービスのイメージが強いが、中高生へのサー  
ビスも必要である。中高生へのサービスに詳しい図書館員は全国的にも不足している。  
浦安市がそこにチャレンジしていくのであれば、大変楽しみである。

(意見) 一日も早く計画を再開してほしい。図書館協議会として意見を出していきたい。

以上